

## 情報処理 II 履修者向け環境について

桂田 祐史

1992年4月22日

### 1 環境設定作業について

情報科学センターのワークステーションを使用してきた、日頃意識していない人も多いと思いますが、ワークステーションに採用されている UNIX というオペレーティング・システムでは、各利用者が自分好みの環境を構築できるようなしかけがあります。昨年度の東海林先生の演習でもこのことを利用して、履修者専用の環境<sup>1</sup>を用意していました。（そのための作業は昨年5月頃に一度やっただけなので覚えていない人もいるかもしれませんが。）

この情報処理 II でも、この講義専用のコマンドをいくつか用意します。以下ではそれを使うようにするための設定作業について説明します<sup>2</sup>。

login した直後に

```
waltz11% ~re00018/syori2/bin/settei92
waltz11% source .cshrc
```

として下さい。これですべてです。うまく出来たかどうか、チェックするためには

```
waltz11% kakunin92
```

とします。

```
alias OK (4/22/92)
path (~re00018/syori2/bin) OK
```

のように表示されたら（多分）大丈夫でしょう。

### 2 情報処理 II 専用のコマンド（一部）の紹介

f77o 東海林先生の演習と同じ。Fortran プログラムのコンパイルをしますが、出来上がる実行形式の名前を（先頭に指定した）ソースファイルの名前から ‘f’ を取ったものにします。

例えば reidai1-1.f をコンパイルすると reidai1-1 という名前の実行形式ファイルが出来ます。

---

<sup>1</sup>具体的には f77o, l などのエイリアスや xphoon などのコマンドを使えるようにしていたことを指します。

<sup>2</sup>これを実行すると .cshrc というファイルをこちらで用意したもので上書きすることになります。これがどうしても嫌だと言う人は、自分で .cshrc の path の設定に “ re00018/syori2/bin ” を加えて下さい。

getsample この講義では、例題用のプログラム、データのファイルを公開します。 getsample とすると、その時間の例題用ファイルをカレント・ディレクトリにコピーします。つまり、毎時間例題プログラムを試す前に、

1. 作業用ディレクトリに移る。
2. getsample を実行する。

という手順を踏むことになるでしょう。

### 3 熟練者向けの注意

(以下の文章をさっと読んでチンプンカンプンという人は無視してしまって構いません。)

昨年度も情報科学センターのアカウントを持っていた人の中には、.cshrc, .login などの設定ファイルにエイリアス (alias) 等自分好みの設定を書き込んでいた人がいることでしょう。実は、今年度新しくアカウントを作り直した際に、これらの設定ファイルはセンター側で用意した新しいファイルで置き換えられていることに注意して下さい。昨年度末の段階の古い設定ファイルは、ある方法で<sup>3</sup>圧縮され、別の名前を付けられた上で保存されています。(たとえば.cshrc は .cshrc.Z という名前で、.login は .login.Z という名前で残っています。)

昨年度自分で作ったエイリアス等の設定を今年度も使いたいという人は、以下の手順で作業して下さい<sup>4</sup>。

1. まず第1節の、今年度の情報処理 II 履修者向けの設定を済ませておく。
2. 復活したい内容の入っていたファイルが .cshrc である場合

```
waltz11% zcat .cshrc.Z > oldcshrc
```

とすると古い .cshrc の内容が 'oldcshrc' という名前のファイルに復元されます。この後エディターを使って、oldcshrc に含まれている自分好みの設定を記した部分を、今年度の .cshrc あるいは .aliases に加えて下さい。

(エイリアス程度のことでしたら、.aliases というファイルに書いておけばいいようにしておきました。)

---

<sup>3</sup> (センターに尋ねたわけではありませんが) compress というコマンドを使ったものと思われます。

<sup>4</sup>センターによれば、昨年度の設定を使い続けることも可能ではあるが、なるべく今年度配布した設定ファイルを使って下さい、とのこと。私が用意した .cshrc は、センターが今年度配布したものを元にして作ったものです。